はなの木

飯地小学校だより
令和8年度　第6号
令和8年10月28日

飯地小学校 HP

夢をもち、懸命に生きる子　～進んで学ぶ子・思いやりのある子・元気な子～

変える勇気・気付く価値

校 長　　原田 三千代

10 月17日、晴天の下、飯地小学校・子ども園合同「スポーツフェスティバル」が無事に開催されました。当日はたくさんの方にご参観いただき、たくさんのご声援をいただきました。一緒にスポフェスを盛り上げていただき、本当にありがとうございました！

「競技で競い合いながらも最後の勝敗はつけない新しい運動会を開催します！」こう子どもたちに宣言した時の反応は様々でした。今までとは違う新しい運動会のスタイルにワクワクする表情を見せる子、友達と顔を見合わせながらニヤニヤしている子、ちょっぴり複雑そうな表情を見せる子。賛否両論、様々な表情が見られました。決して強引なトップダウンになることなく、そんな一人一人の気持ちを大切にしながら練習を進めていこうと、職員ともよく話し合い、取組がスタートしました。

一輪車・太鼓の練習、各係活動の分担、そしてスポフェスを盛り上げる歌の練習・・・取組が進む中で、子どもたちの目標が明らかに「一つの方向」に向かっていることを感じました。そこには「みんなで気持ちをひとつにして全力で頑張る」ということに大きな意味・価値を見つけた子どもたちの姿がありました。「勝負以上に大切なもの」と言われても、小学生に理解するのはなかなか難しかったはずです。それを少しでも感じることができたのだとしたら、このスポフェスの価値はとても高いものだったと思います。閉会式で見せてくれた13人の満足そうな表情、やりきった笑顔を見て、「みんな優勝！」と心から実感することができた素晴らしいスポフェスでした。支えてくださった保護者の皆さん、地域の皆さん、そして飯地小・子ども園職員の皆さんにも改めて感謝申し上げます。ありがとうございました！

振替休業日明けの 20 日に、全校で振り返りを行いました。スポフェス当日の自分たちの頑張りを振り返り、「さらに成長していこう！」と次への目標をしっかりと見つめている13人の姿をとても頼もしく感じました。「来年の大玉転がしでは、コーンをうまく回りたい」「来年のスポフェスでは・・・」と、すでに来年度をイメージしている意見も出ました。来年度、今年以上の多くの地域の方にご参観いただき、さらにスポフェスを盛り上げていただけるとありがたいです。どうぞよろしくお願いします！

飯地小学校運営協議会コーナー「 飯地小・子ども園合同スポフェス」

～地域ぐるみで育てたい姿『豊かな体験を通して、ふるさと飯地への愛着と誇りをもつ』～

学校運営協議会委員の方々を始め、ご来賓の皆様、地域の皆様にたくさんのご声援をいただきました。ありがとうございました。夏休みに地域の方々には除草作業のご協力をいただき、その後用務員の柘植良人さんに整備を継続していただいたお蔭で、子どもたちは恵まれた環境で安全にスポフェスを開催することができました。本当にありがとうございました！

【地域の方の感想を一部紹介します】　ご感想をお聞かせいただきありがとうございました。

・2~5年生まで、みんなが主役になれるのは、少人数だからできるということもあり、達成感も大きかったのではないか。できればもっとたくさんの地域の方に見てもらえるとよいと思った。
・少ない人数でも、大きな力を感じました。感動をありがとうございました。
・子どもたちのきびきびとした行動に感心しました。人数の少ないことは問題ではないですね。それぞれに責任をもって最後までやり切った姿を見て、飯地小ならでは!と感じました。
・自分たちの力でスポフェスを作っている姿が素晴らしかった！
・体操の声、歌声共に、声の大きさにこだわって練習してきたことが分かりました。人数が減っても、昨年度以上のクオリティでびっくりしました！
・毎年一輪車の頑張りとレベルの高さに感動します。できる限り継続をお願いしたいです。　　（一部抜粋）